

# みなまた・水・品質向上計画

(水俣市水道事業経営方針及び中長期計画)

平成 14 年 1 月

水俣市水道局

## 目次

1	経営方針及び中長期計画策定の背景と目的	1
2	本市水道事業の現状と課題	1
(1)	業務部門における現状と課題	2
	事務・事業の簡素合理化	
	複雑・多様化する利用者ニーズへの対応	
	新たな行政需要への対応	
	組織・機構の見直し	
	財政運営の健全化	
(2)	施設部門における現状と課題	3
	施設基準の確保	
	水質基準の確保	
	施設の防災安全対策及び危機管理体制の確立	
3	水俣市水道事業経営方針	3
(1)	経営方針コンセプト概念整理図	3
(2)	コンセプト達成のための視点	4
	「水」の品質向上	
	「サービス」の品質向上	
	「人」の品質向上	
4	中長期計画	4
(1)	中長期計画の計画期間	4
(2)	中長期計画の概要	4
5	その他参考資料	6

## 1 経営方針及び中長期計画策定の背景と目的

本市水道事業は、昭和9年9月の事業認可、昭和12年の市内中心部及び陣内、浜町、丸島、百間地区の給水開始を皮切りに、60余年の長きにわたり、公衆衛生の向上及び住民福祉の向上を図るため、これまで6次にわたる給水区域の拡張をはじめ、水源、配水施設等の整備を順次、実施してきた。

この間、本市水道事業を取り巻く社会経済情勢は、水俣病問題をはじめ、近年の急速な過疎化・少子高齢化の進展、バブル崩壊後の長引く不況等による主要企業の撤退・事業縮小等、急激なまでに変動しており、その影響下、本市給水人口及び使用水量は、ここ10数年来、年々減少傾向にあり、今後も増加が見込めない極めて厳しい状況にある。

さらに、これまで建設投資の財源のほとんどを企業債に依存してきたため、平成14年度から平成22年度にかけて企業債償還額がピークを迎えることに加え、今後は老朽化した大規模施設・設備の更新を実施していかなければならず、また、過去の事業拡張時における職員採用の集中など職員の計画的採用補充ができなかったことによる退職給与費の増加が見込まれるなど、中長期的事業経営の観点からも、今後の経営は極めて厳しいものとなることが予想される。

このため、将来にわたる本市水道事業の効率的かつ計画的な運営を図るため、本市水道事業の現状と課題を分析整理し、経営全体の見直しを行い、企業経営の健全性を確保し、利用者に清浄、豊富、低廉な水を安定的に供給していくことを目的として、水俣市水道事業経営方針及び中長期計画を策定することとした。

## 2 本市水道事業の現状と課題

本市水道事業の過去5年間の事業規模の推移及び概要は次のとおりであり、給水区域内人口、給水人口をはじめ年間総配水量、年間総有収水量等の主な経営指標のほとんどが減少若しくは悪化の傾向にある。

項 目	年 度				
	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
給水区域内人口 (人)	32,556	32,207	31,991	31,785	31,506
給 水 人 口 (人)	27,251	26,997	26,905	26,734	26,541
普 及 率 (%)	83.71	83.82	84.10	84.11	84.24
配 水 能 力 (m <sup>3</sup> /日)	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000
年間総配水量 (m <sup>3</sup> )	4,596,275	4,330,601	4,170,242	4,124,172	4,227,778
年間総有収水量 (m <sup>3</sup> )	3,800,691	3,713,154	3,716,009	3,618,687	3,630,693
有 収 率 (%)	82.69	85.74	89.11	87.74	85.88
一日最大配水量 (m <sup>3</sup> )	15,398	14,388	14,241	13,200	13,938
一日平均配水量 (m <sup>3</sup> )	12,593	11,865	11,425	11,268	11,583
施 設 利 用 率 (%)	60.0	56.5	54.4	53.7	55.2
負 荷 率 (%)	81.8	82.5	80.2	85.4	83.1
最 大 稼 働 率 (%)	73.3	68.5	67.8	62.9	66.4
職 員 数 (人)	27	24	21	19	18
うち損益勘定職員数 (人)	27	24	21	19	18

近年、本市においては、第3次水俣市総合計画に掲げる「環境・健康・福祉を大切にする産業文化都市の創造」を目指して、産業団地の開発及び環境関連企業の新規誘致、月浦福祉ニュータウンの開発等、新たな都市整備、産業振興等の施策を積極的に推進してきており、また、平成16年4月の九州新幹線の開業や中心市街地活性化計画の策定等、今後、本市人口減少の歯止めとなる新たな都市整備や産業振興の諸施策が計画されているが、これらは、今後の本市水道事業経営にとってはプラス要因となることは確実であるものの、給水区域の拡大や給水人口の増加等、本市水道事業の規模拡大にまでつながるものとは予想されない。また、水道事業を取り巻く環境は、平成13年7月の水道法改正による新規事業の増加、地方分権の推進、市町村合併特例法の施行への対応、国際テロ等に対する安全対策の必要性等、近年、激変しており、従来の枠を超えた新たな行政需要が発生してきている。

このため、中長期的視点に立った年次ごとの期間損益等の変動等に対応しつつ、将来にわたり最少の経費で最大の効果を発揮する企業経営の健全性を確保しながら新たな行政需要に的確に対応していくために、利用者に対するサービスの向上及びこれを実現するための組織機構のあり方、事務事業の簡素合理化、施設整備及び施設管理の適正合理化等、あらゆる角度から現状分析を行い、水俣市水道事業経営方針及び中長期計画策定の出発点とした。

#### (1) 業務部門における現状と課題

##### 事務・事業の簡素合理化

- ・ 窓口対応にかかる時間が長いため、短縮化を図る必要がある。
- ・ ひとつの分掌事務を異なる課・係で掌握しているために二重の事務執行がなされる等、不合理な事務処理形態がみられるため、事務・事業を整理・統合する必要がある。

##### 利用者ニーズへの対応

- ・ 現在の利用者窓口は、高齢者・障害者の方に大変利用しにくいものとなっているため、利用者の利便性を第一とした窓口改善が必要がある。
- ・ 集金人による各戸集金が、現在限られた地域のみを対象としているため、その必要性、あり方、方法等を再検討する必要がある。また、コンビニ収納の検討等利用者のニーズに沿った料金収納体制を目指す必要がある。
- ・ お客様への情報提供・説明責任の遂行をより積極的に行う必要がある。

##### 新たな行政需要への対応

- ・ 市町村合併、水源涵養林の必要性等、広域的な水道行政のあり方を検討する必要がある。

##### 組織・機構の見直し

- ・ 職員総数18人の本市水道事業で、4つの係を擁する局分課制が敷かれているが、しなやかな業務運営を目指し、組織・機構を抜本的に見直す必要がある。

##### 財政運営の健全化

- ・ 本市水道事業は、同規模団体と比較して、労働生産性が低く、労働分配率が高くなっているため、その原因を探り、人件費の削減に取り組む必要がある。
- ・ 将来的な収益の増加が見込めないため、徹底的な費用の削減を実施していく必要がある。
- ・ 総括原価主義に基づく適正料金の設定等による健全な財政運営を進めていく必要がある。

## (2) 施設部門における現状と課題

### 施設基準の確保

- ・ 22ヶ所の配水池による配水体制の再検討を含め、将来を見据えた中長期的な施設の整備・更新・統合を実施していく必要がある。
- ・ 老朽配水管を計画的に更新していく必要がある。

### 水質基準の確保

- ・ 現在水質は保たれているが、将来的に安心・安全な水の供給を続けていくため、水源地の水質保全を図り、水質管理体制を強化する必要がある。
- ・ 給水装置所有者の管理所有箇所中存在する鉛管に関する対策を講じる必要がある。

### 施設の防災安全対策及び危機管理体制の確立

- ・ 毒物を使用した事件の多発、国際テロの危険性の高まり等を考慮し、水源地及び配水地の安全管理体制を強化する必要がある。
- ・ 本市は主要な水源がひとつの水系に集中しているため、災害に備えて水源の分散化等を検討し、また、施設の耐震化を図る必要がある。

## 3 水俣市水道事業経営方針

### (1) 経営方針コンセプト概念整理図

#### 「みなまた・水・品質向上計画」

##### 「水」の品質向上

「水」の品質向上とは...

より清浄な、安全な、豊富なおいしい水を、より安定的に供給すること。

##### 「サービス」の品質向上

「サービス」の品質向上とは...

より質の高い、より豊富な種類のサービスを、より安価な価格で提供すること。

##### 「人」の資質向上

「人」の資質向上とは...

「水」と「サービス」の向上を可能にする、スリムでしなやかな組織を構築し、より専門性の高い企業職員を育成すること。

「みなまた・水・品質向上計画」が求める果実は「水」と「サービス」の品質向上。

そしてそれを実現するために必要な土壌が「人」の資質向上。

水俣市水道事業は、この3つの品質向上を図ることを経営方針とします。

( 2 ) コンセプト達成のための視点

「水」の品質向上

- ・ 水質基準・施設基準の確保
- ・ 危機管理体制の強化

「サービス」の品質向上

- ・ お客様のニーズに沿ったサービスの充実（サービスの質、種類・量の充実）
- ・ より安価な価格でのサービスの提供

「人」の資質の向上

- ・ 組織・機構の見直し
- ・ 職員の資質向上

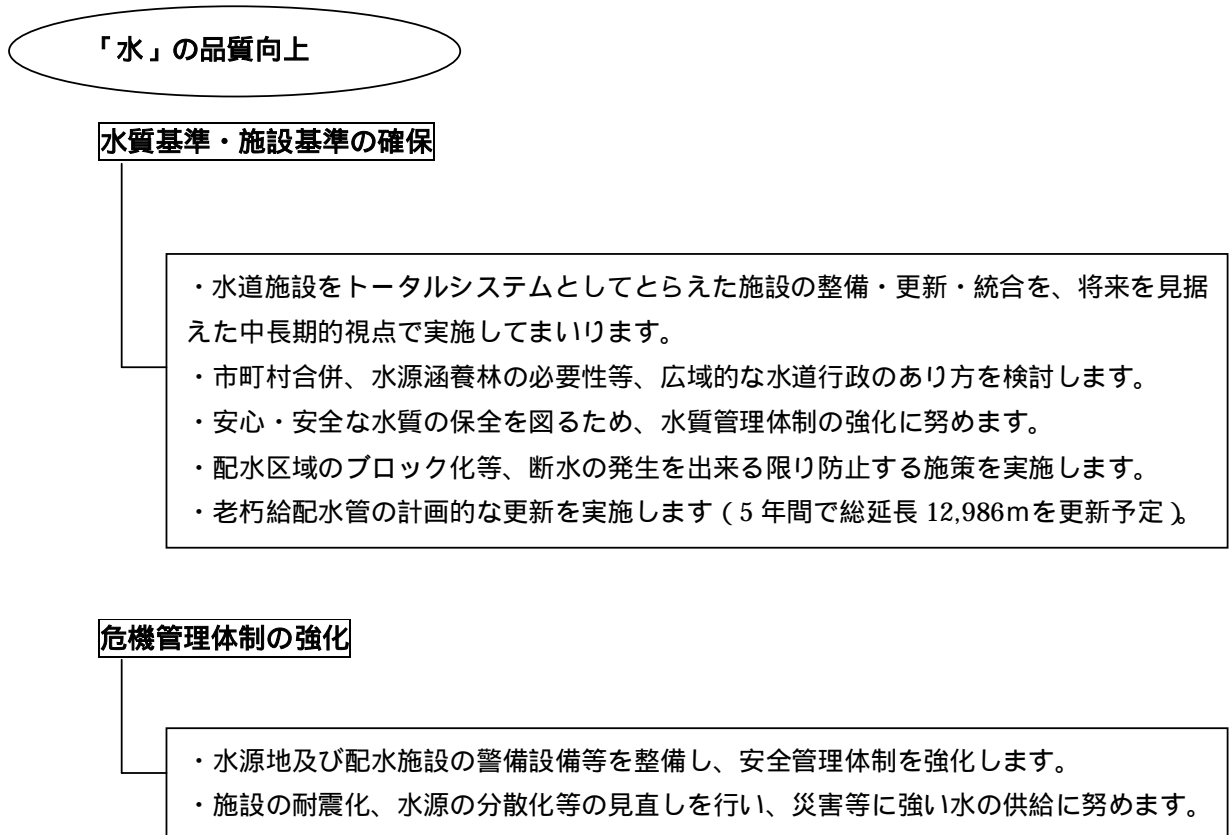
4 中長期計画

( 1 ) 中長期計画の計画期間

中長期計画の期間は、平成 14 年度から平成 18 年度までの 5 年間とします。

( 2 ) 中長期計画の概要

経営方針を達成するため、次のとおり事業全般にわたる各種施策を体系化し、別に定める個別・部門別計画に基づき、順次実施してまいります。



## 「サービス」の品質向上

### お客様のニーズに沿ったサービスの充実

- ・お客様のご利用しやすい、お客様をお待たせしない窓口を目指します。
- ・お客様のご利用しやすい料金収納体制をめざします。
- ・パブリシティー基本計画を策定し、お客様の知りたい情報・知っていなければならない情報・知っていると便利な情報を提供してまいります。
- ・鉛管（給水管）布設替え等の費用にかかるお客様の負担軽減を図る助成・貸付制度の検討を行うなど、新たな行政需要に対応するサービスの提供を行います。

### より安価なサービスの提供

- ・できるだけ安価な料金による水の供給ができるよう、さらなる経営努力を行い、コスト削減に努めます。
- ・長期化する不況下、料金の時限的引き下げの可能性について検討します。

## 「人」の資質向上

### 組織・機構の見直し

- ・給水人口規模、本市の地理的特性等に見合ったスリムな組織を構築し、順次見直しを行ってまいります。
- ・お客様のニーズにオンタイムに対応できるしなやかな業務運営が可能な組織を構築し、順次見直しを行ってまいります。

### 職員の資質向上

- ・水の品質向上を可能にする、より高度で専門性の高い知識をもった企業職員の育成に努めます。
- ・お客様から安心と信頼を得られるような企業職員の育成に努めます。  
...研修計画を策定し、体系化した職員研修をすすめてまいります。

## 5 [その他参考資料](#)

### ( 1 ) 財政計画

水道事業経営 5 カ年計画

### ( 2 ) 個別部門別計画

総配水量、有効水量、無効水量の実績及び予定表（上水及び簡水、上水、簡水）

施設整備 5 カ年計画

給配水管更新 5 カ年計画

メーター整備 5 カ年計画

### ( 3 ) 参考資料

水道料金原価及び料金収入予定額

水俣市水道事業の現状と問題点

県下各市の水道局組織一覧

施設業務概況及び経営分析に関する調べ（平成 11 年度地方公営企業年鑑）

水俣市水道事業組織機構見直し（案）



水道事業経営5ヵ年計画（現行組織 税込）

（単位：千円）

区 分		年 度		計 画 期 間					
		12年度	策定年度 13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	
収益的収支	収入	給水現行料金	543,391	541,836	540,227	534,790	534,727	532,005	529,299
		改訂による増収額	0	0	0	0	0	0	0
		小計	543,391	541,836	540,227	534,790	534,727	532,005	529,299
		受託工事収益	0	0	0	0	0	0	0
		その他営業収益	15,518	81,136	14,852	14,945	14,945	14,945	17,621
		営業外収益	6,260	5,864	5,314	5,184	5,184	5,184	5,184
		特別利益	36,766	0	2	0	0	0	0
		合計	601,935	628,836	560,395	554,919	554,856	552,134	552,104
	支出	人件費	192,691	254,855	200,457	212,309	191,100	185,336	217,785
		物件費	32,647	50,682	43,233	43,228	43,228	43,228	43,228
		材料・薬品	1,043	2,298	1,399	1,399	1,399	1,399	1,399
		修繕費	39,825	31,555	26,356	26,356	26,356	26,356	26,356
		動力費	28,071	29,395	28,602	28,602	28,602	28,602	28,602
		その他経費	2,997	2,702	1,468	1,468	1,468	1,468	1,468
		減価償却費等	101,851	96,505	90,722	93,519	89,459	87,658	85,020
		その他営業費用	1	4	10	10	10	10	10
		支払利息	89,301	85,305	80,946	76,327	71,610	66,806	62,002
		繰延勘定償却	0	0	0	0	0	0	0
		消費税及び地方消費税	20,311	20,183	17,218	17,218	17,218	17,218	17,218
		雑支出	0	0	0	0	0	0	0
特別損失	16	0	58	0	0	0	0		
合計	508,755	573,484	490,469	500,435	470,449	458,080	483,087		
差 引	93,180	55,352	69,926	54,484	84,407	94,054	69,017		
資本的収支	収入	企業債	0	0	0	0	0	0	
		その他	5,707	14,511	18,787	18,787	18,787	18,787	
		合計	5,707	14,511	18,787	18,787	18,787	18,787	
	支出	企業債償還金	63,350	72,255	78,222	79,667	81,629	83,257	81,208
		メーター購入費			1,443	1,443	970	970	970
		拡張工事費			0	0	0	0	0
		調査費	61,982	110,079	0	0	0	0	0
		施設整備費			11,913	10,337	6,387	5,101	33,695
		給配水管更新費			85,057	91,236	79,779	80,569	72,872
		災害復旧費	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	5,657	2,000	2,000	2,000	2,000		
合計	125,332	182,334	182,292	184,683	170,765	171,897	190,745		
差 引	-119,625	-167,823	-163,505	-165,896	-151,978	-153,110	-171,958		
消費税資本的収支調整額		2,718	4,778	4,264	4,311	3,517	3,493	4,538	
損益勘定留保資金	現年度分	減価償却費	98,142	91,830	88,230	89,221	85,161	83,360	80,722
		繰延勘定償却	0	0	0	0	0	0	0
		棚卸資産減耗費	359	425	400	400	400	400	400
		固定資産除却費	2,813	3,400	1,674	3,118	3,118	3,118	3,118
		その他	0	0	0	0	0	0	0
合計	101,314	95,655	90,304	92,740	88,679	86,878	84,240		
合計 差 引		77,587	-12,038	989	-14,361	24,626	31,315	-14,163	

内部留保資金の内固定資産除却費については、営業費用固定資産除却費の8割の額を想定した。

水道事業経営5ヵ年計画（現行組織 税抜）

（単位：千円）

区 分		年 度		計 画 期 間					
		12年度	策定年度 13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	
収益的 収支	収入	給水現行料金	517,515	516,034	514,502	509,324	509,264	506,671	504,094
		改訂による増収額	0	0	0	0	0	0	0
		小計	517,515	516,034	514,502	509,324	509,264	506,671	504,094
		受託工事収益	0	0	0	0	0	0	0
		その他営業収益	14,882	80,479	14,232	14,325	14,325	14,325	17,000
		営業外収益	6,033	5,655	5,099	4,976	4,976	4,976	4,976
		特別利益	36,766	0	2	0	0	0	0
	合計	575,196	602,168	533,835	528,624	528,564	525,972	526,070	
	支出	人件費	192,674	254,834	200,436	212,288	191,079	185,315	217,764
		物件費	31,212	48,456	41,408	41,403	41,403	41,403	41,403
		材料・薬品	1,011	2,236	1,363	1,368	1,368	1,368	1,368
		修繕費	39,016	30,804	26,388	25,729	25,729	25,729	25,729
		動力費	26,734	27,995	27,240	27,240	27,240	27,240	27,240
		その他経費	2,987	2,687	1,414	1,452	1,452	1,452	1,452
		減価償却費等	101,826	96,505	90,722	93,519	89,459	87,658	85,020
		その他営業費用	1	4	10	10	10	10	10
		支払利息	89,301	85,305	80,946	76,327	71,610	66,806	62,002
		繰延勘定償却	0	0	0	0	0	0	0
		雑支出	0	0	0	0	0	0	0
		特別損失	16	0	0	0	0	0	0
合計		484,778	548,826	469,927	479,334	449,347	436,979	461,986	
当年純利益	90,418	53,342	63,908	49,290	79,217	88,993	64,084		

資本的収支財源必要額	119,625	167,823	163,505	165,896	151,978	153,110	171,958
消費税資本的収支調整額	2,718	4,778	4,264	4,311	3,517	3,493	4,538
過年度分損益勘定留保資金	127,242	-	-	-	-	-	-
現年度分損益勘定留保資金	101,314	95,655	90,304	92,740	88,679	86,878	84,240
損益勘定留保資年度末残高	111,649	44,259	8,202	4,595	40,132	100,703	109,971

建設改良積立金残高	110,964	125,964	135,964	145,964	155,964	165,964	175,964
建設改良積立金積立額	15,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
建設改良積立金取崩額	0	0	0	0	0	0	14,316

減債積立金残高	64,878	144,878	184,878	201,998	166,760	131,442	78,132
減債積立金積立額	80,000	40,000	50,000	30,000	60,000	70,000	50,000
減債積立金取崩額	0	0	32,880	65,238	95,318	123,310	78,132

総配水量、有効水量、無効水量の実績及び予定量

上水及び簡水

(単位:m3)

区 分		総配水量	内 訳			
			有効水量	内 訳		無効水量
				有収水量	無収水量	
10年度	水量	4,170,242	3,717,270	3,716,009	1,261	452,972
	%	100.00	89.14	89.11	0.03	10.86
11年度	水量	4,124,172	3,619,875	3,618,687	1,188	504,297
	%	100.00	87.77	87.74	0.03	12.23
12年度	水量	4,227,778	3,631,769	3,630,693	1,076	596,009
	%	100.00	85.90	85.88	0.03	14.10
13年度	水量	4,282,910	3,594,852	3,593,677	1,175	688,058
	%	100.00	83.93	83.91	0.03	16.07
14年度	水量	4,156,818	3,558,984	3,557,809	1,175	597,834
	%	100.00	85.62	85.59	0.03	14.38
15年度	水量	4,118,059	3,523,128	3,521,953	1,175	594,931
	%	100.00	85.55	85.52	0.03	14.45
16年度	水量	4,117,515	3,522,610	3,521,435	1,175	594,905
	%	100.00	85.55	85.52	0.03	14.45
17年度	水量	4,099,495	3,504,616	3,503,441	1,175	594,879
	%	100.00	85.49	85.46	0.03	14.51
18年度	水量	4,081,575	3,486,720	3,485,545	1,175	594,855
	%	100.00	85.43	85.40	0.03	14.57

総配水量、有効水量、無効水量の実績及び予定量

上水

(単位:m3)

区 分		総配水量	内 訳			
			有効水量	内 訳		無効水量
				有収水量	無収水量	
10年度	水量	4,143,886	3,690,914	3,689,653	1,261	452,972
	%	100.00	89.07	89.04	0.03	10.93
11年度	水量	4,098,182	3,594,400	3,593,212	1,188	503,782
	%	100.00	87.71	87.68	0.03	12.29
12年度	水量	4,200,202	3,606,506	3,605,430	1,076	593,696
	%	100.00	85.87	85.84	0.03	14.13
13年度	水量	4,248,966	3,569,184	3,568,009	1,175	679,782
	%	100.00	84.00	83.97	0.03	16.00
14年度	水量	4,127,455	3,533,759	3,532,584	1,175	593,696
	%	100.00	85.62	85.59	0.03	14.38
15年度	水量	4,092,129	3,498,433	3,497,258	1,175	593,696
	%	100.00	85.49	85.46	0.03	14.51
16年度	水量	4,092,129	3,498,433	3,497,258	1,175	593,696
	%	100.00	85.49	85.46	0.03	14.51
17年度	水量	4,074,643	3,480,947	3,479,772	1,175	593,696
	%	100.00	85.43	85.40	0.03	14.57
18年度	水量	4,057,244	3,463,548	3,462,373	1,175	593,696
	%	100.00	85.37	85.34	0.03	14.63

13年9月、月浦大規模漏水修繕終了。増大していた小田ポンプ分が減少しているため、無効水量は減少するものと思われる。また、百間港の船舶給水の漏水調査中。

平成12年度までは実績値。平成13年及び14年度は現段階見込数値。15年度は平成10年度から平成12年度までの平均逓減率1%で算定し、16年度は九州新幹線開通による初野駅周辺地区の開発効果及び中心市街地活性化計画の影響を考慮し、減少0とし、17年度以降は平均逓減率0.5%と仮定し算定した。無収水量は同3年間の平均値とした。無効水量は、13年度は平成10年度から12年度までの平均増加率14.5%で算出したが、13年9月の大規模漏水修繕終了を受け、増大傾向を止め得るものと仮定し、14年度以降は12年度の水準で推移するものと予定した。

総配水量、有効水量、無効水量の実績及び予定量

簡水

(単位:m3)

区 分	総配水量	内 訳				無効水量
		有効水量	内 訳		無効水量	
			有収水量	無収水量		
10年度	水量	26,356	26,356	26,356	0	0
	%	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00
11年度	水量	25,990	25,475	25,475	0	515
	%	100.00	98.02	98.02	0.00	1.98
12年度	水量	27,576	25,263	25,263	0	2,313
	%	100.00	91.61	91.61	0.00	8.39
13年度	水量	33,944	25,668	25,668	0	8,276
	%	100.00	75.62	75.62	0.00	24.38
14年度	水量	29,363	25,225	25,225	0	4,138
	%	100.00	85.91	85.91	0.00	14.09
15年度	水量	25,930	24,695	24,695	0	1,235
	%	100.00	95.24	95.24	0.00	4.76
16年度	水量	25,386	24,177	24,177	0	1,209
	%	100.00	95.24	95.24	0.00	4.76
17年度	水量	24,852	23,669	23,669	0	1,183
	%	100.00	95.24	95.24	0.00	4.76
18年度	水量	24,331	23,172	23,172	0	1,159
	%	100.00	95.24	95.24	0.00	4.76

古い管が70m程度残存しており、14年度に更新を実施する予定である。それが終了すれば無効水量は皆減するものと思われる。

有収水量は平成13年度及び14年度は現段階見込数値。15年度以降は平成10年度から12年度までの平均逓減率2.088%で算出した。無効水量は、13年度上期の無効水量4,188 m<sup>3</sup>の2倍の数値を13年度の予定量とし、14年度に残存古管の更新予定であることから、14年度は13年度上期の水量をもって年間量と仮定し、15年度以降は有収水量の5%で推移するものと予定した。





給配水管更新5ヵ年計画(延長)

	石綿管更新	延長(m)	鋳鉄管更新	延長(m)	v.p管更新	延長(m)	給水管更新	延長(m)	その他	延長(m)	消火栓	下水道	延長(m)	計(m)
14年度	市役所前 内山	80 80	仲の町 医療センタ-	180 150	石坂川 駅～元引込線 袋旧中学～茂道 内山ポンプ所先 長野町	100 200 700 320 120			新幹線初野 県道早栗 県道桜ヶ丘	171 300 20	2基 2基	浦上	170	
小計		160		330		1,440		0		491			170	2,591
15年度			陣内チヨ横	400	神川三叉路～河口 神川三叉路～公園 江南～内山ポンプ 陣原市住～建売住 陣原p所～深内方 浦上町 白浜市住～馬籠	350 300 450 530 230 800 180	陣内郵便～ 松本文具				4基 1基 1基			
小計				400		2,840		0						3,240
16年度			吉海量～神社 松本文具裏	210 85	六角～船津鮮魚 侍地区 陣内水光社～水源地 蘇峰墓下	240 1,150 550 280	松本文具～ 江川店				1基 1基			
小計				295		2,220		0						2,515
17年度					牧内p所～配水池 牧内p所～上の橋 市役所～陣内梅田 牧内p所～嶋田方 水俣病院先 白浜市住～猿郷入口 猿郷入口～横田市議 村上電気裏 水東小学校	850 150 500 220 500 200 200 50 120	警察署～ 船津鮮魚			2基				
小計						2,790		0						2,790
18年度					西湯ノ見 市役所～ひばり丘 陣内川～犬童方	100 1,700 50					2基			
小計						1,850								1,850
計		160		1,025		11,120				841			170	12,986



メーター整備5ヵ年計画

(単位:個)

区 分			14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
年度初	正常メーター数	(A)	14,482	14,658	14,829	15,002	15,174
	不正常メーター数(廃棄予定品)	(B)	20	14	16	15	14
	計	(A)+(B)	14,502	14,672	14,845	15,017	15,188
年度中	当年度検満メーター数	(C)	2,035	1,412	1,632	1,473	1,351
	同上の内改造の上年度内再使用予定数	(D)	2,015	1,398	1,616	1,458	1,337
	同改造不能品数(廃棄予定品)	(E)=(C)-(D)	20	14	16	15	14
	新品購入の上不正常メーターの取替予定数	(F)	20	14	16	15	14
	新設改造工事のため新品購入の上設置予定数	(G)	156	151	153	152	151
年度末	正常メーター数	(A)+(F)+(G)-(E)	14,638	14,710	14,982	15,154	15,325
	不正常メーター数	(B)+(E)-(F)	20	14	16	15	14
	計	(A)+(B)+(G)	14,658	14,823	14,998	15,169	15,339
備考							

(2) 予 算

(単位:千円)

区 分	予 算 費 目	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
メーター整備費	収益的支出 配水及び給水費 修繕料					
メーター購入費	資本的支 施設費 機械器具購入費					
計						

注: 15年度から18年度まで 100遠隔式無線式メーターを年度1個ずつ購入

メーター交換予定一覧表

	単価	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
13		1,907	1,311	1,541	1,389	1,324
20		52	36	23	43	12
25		42	42	30	25	13
40		28	19	31	14	1
50		1	2	5	1	1
75		5	2	2	1	0
計		2,035	1,412	1,632	1,473	1,351
予定金額						